志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成29年度学校だより
第　３　号
平成29年６月１日発行

地に足がついた学習を
そして、自分のよさを自覚し、人を大切に思う心を

正門横のアジサイがつぼみをつけています。職員玄関のつばめは、５羽のひなが大きな口を開けて親鳥から餌をもらい、日に日に大きく育っています。

５月25日の**参観・懇談会**には、平日にもかかわらず、多数ご来校いただきましてありがとうございました。また、28日の**ＰＴＡ資源回収**には、地域・保護者の皆様の多大なご協力・ご支援を賜りましてありがとうございました。

今年の**修学旅行**は、５月11、12日と早い実施でした。６年生は、計画的に準備を進め、二日間を元気に過ごし、充実した体験や学習をしました。奈良や大阪では、歴史的な建造物やその時代に生きた人々の営み、知恵や技術に感動する児童の姿がありました。また、キッザニア甲子園や海遊館、ＵＳＪでは、友達と折り合いをつけながら時間を有効に使えるように考え、相談して行動する体験が多くできました。キッザニア甲子園では、様々な仕事体験をしました。中には、ダンスや演劇でステージに立ったり、ニュース番組のキャスターになったりと、それぞれに自分の可能性を探ることができたようです。私たち教員も子どもたちの意外な一面を見て、子ども理解が深まりました。個々のよさや可能性を今後の学校生活の中でも発揮できるよう応援します。

５月19日に開催しました**「地球のステージ」**は、「戦争、災害、貧困の地の子どもたちに音楽と映像で近づこう」というコンサートステージです。医師の桑山紀彦様は、日本で診療を行う一方、パレスチナ、東ティモール、地震等の被災地で、国際医療支援活動をされています。そこで出会われた人々の輝き、明るくたくましく生きる姿を映像とオリジナルの音楽、語りを交えて伝えてくださいました。続いて、東日本大震災で被災された丹野祐子様からは、当たり前の生活が当たり前でなくなったことや、命の尊さを語っていただきました。子どもたちは、柔らかな感性で、命の大切さを再確認するとともに広く世界を見ることの大切さ、命を輝かせることの大切さを受け止めたようです。

さて、６月は**「いじめ防止強化月間」**です。困っている子がいない、思いやりのある集団づくりを目指して取組を行います。「いじめのない、明るく楽しい学校をめざして」のアンケート実施後、児童一人一人と担任の先生とが個別面談を行います。

いじめ、とりわけ「暴力を伴わないいじめ」の場合、その始まりは児童の間でよく見られるトラブルです。成長途上にある子どもが集まる学校では、ささいなトラブルが生じます。先日も仲良し同士の会話なのですが、攻めるような言い方をして相手が困っている表情をしていても気付いていないという場面をみて、声をかけました。「いじめは、しない、させない、許さない。」今後も児童の人間関係をじっくりよく見て、個々のよさを大切にしながら、人を大切に思う心をはぐくみ、困りごとを解決するよう取組をしていきます。今後もご家庭や地域でお気付きになることがありましたら、すぐにお知らせください。

６月は、**水泳学習**が始まります。警報発表時の**下校訓練**や**原子力災害時の引き取り訓練**など、安全対策にも取り組みます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

校長　村川　広美　　教職員一同

☆書くこと

ＰＴＡ機関紙「志楽」にも寄稿をしたものを読むのが楽しみです。次は、舞鶴市少年使節団への応募作文の一部です。

「（参加の動機の）最後の三つ目は、実はこれが一番の動機なのです。それは、「瞳」です。どういうことかというと、五月十九日に志楽小学校で、「地球のステージ」という公演がありました。スクリーンの映像には、私たちが映っていました。中には、戦争や貧しくてゴミの山や戦争の中の国に住んでいる子どもたちの多くの外国の子どもたちの映像が映っていました。私も同じように、最初は、「かわいそう。」と思いました。しかし、口元を上にあげて、瞳がキラキラしている全員の笑顔はとても輝いていました。私は、瞳がキラキラしている子どもたちは、どんな場所でも希望や笑顔はあるんだなと思いました。（略）」

生きていく上で大切な「どんな時に生きる方にも希望を失わない」とか、笑顔を引き出していきたいです。

☆日々に新たに・・・　栽培活動

一年生はあさがお、二年生はミニトマトを個々の植木鉢で育てています。毎朝、水やりをしてくれます。一日がスタートします。栽培活動では、大切に育てようと命を実感する気持ちや付き合う心情、生命が芽生え、成長していく様子を感じ取る豊かな情性も育てたいと願っています。

各学年、クラブで栽培の連続性や強さに感動し、嬉しくなったりします。魔法のようです。

農園がお家で生活の皆様のご支援をいただいております。